

わたしの夢

川俣小学校6年

高橋 希未

児童に寄り添うことのできる

小学校の先生になりたい



わたしの夢は、ときには厳しく、悲しんだり悩んだりする児童がいるときは優しく寄り添える小学校の先生になることです。私が小学校の先生になりたいと思ったのは、小学校1年生の時の担任の先生が優しく勉強を教えてくれて「自分もこの先生のようにになりたい」と思ったからです。それから5年間、時々不安になって「このまま小学校の先生を目指していいのか」と悩むこともありましたが、今まで勉強を頑張ってきたことや1年生の時の決意を思い出して今でも先生になるという夢を抱いています。昨年担任の先生は、優しい時も厳しい時もありますが、それは私たちのことを大切に思ってくれているからだと思っています。私はそんな先生になりたいと思っています。また、私が小学校の先生になったら「思いやり」と「協力すること」の大切さを伝えて児童一人ひとりが思いやりを持って行動できるようなクラスになったらいいなと思っています。

町長のひとこと vol.26



今年の里山は、例年になく新芽が一気に膨らみはじめ、5月には新緑から葉の色が濃くなり山が緑化していました。川俣の山開きは私にとっても毎年の楽しみです。小島地区の長寿山山開きから始まり、女神山、花塚山、福沢羽山、口太山と続いていきます。今年は天候にも恵まれ、多くの登山者が参加してくれました。それぞれの山開きは、地域の自治会・山の会の皆さんが協力して、山に登る方も登らないボランティアの方も楽しそうに言葉を交わしています。里山は、人と生き物が共に暮らす自然のありのままの姿が残っていて、その姿を楽しみながら歩くことができます。また里山には、歴史に裏打ちされた「地域の人々の生活と文化」を垣間見ることが出来ます。今、低山登山が人気になってきているようですが、この自然豊かな里山を活かし一大観光に繋げていこうと思います。